

FORUM8®

SIGGRAPH ASIA 2023で最大ブース

多様なシミュレータを実演

クリエイター向けNFTシステム公開



F8VPSでは、メタバース環境に世界各地から参加するとの設定でデモを実施した

フォーラムエイト（東京都港区、伊藤裕二社長）は、オーストラリア・シドニー（ニューサウスウェールズ州）で12月12～15日に開催されたCGと対話型技術の専門学会「SIGGRAPH ASIA 2023」（以下、シーグラフ・アジア）で活発な展示をした。今回は、XR・メタバースプラットフォーム、ドライブシミュレーターといった定評ある商品に加えて、コンテンツクリエイターに向けたNFTプラットフォームを持ち込み、話題をさらった。

シーグラフ・アジアは、同地の国際会議場であるICCシドニーで開催された。展示会は、ICCシドニー展示棟1階の展示ホールで13日から実施されたが、ここで最大のブースを構えたのがフォーラムエイトであった。また、同社はシーグラフ・アジアのプラチナスポンサーとして、イベントを支援しており、CGやXR技術の世界で存在感を高めている。

今回は、ブース正面にイスが前後軸に対して360度ロール（回転）する「VR 360度シミュレータ」を配し、来場者の注目を浴びていた。ICCシドニーで開催された。展示会は、ICCシドニー展示棟1階の展示ホールで13日から実施されたが、ここで最大のブースを構えたのがフォーラムエイトであった。また、同社はシーグラフ・アジアのプラチナスポンサーとして、イベントを支援しており、CGやXR技術の世界で存在感を高めている。



現地法人代表のAnita Byrnes氏は、伊藤裕二社長から長年の貢献を表彰された

出展の目玉の1つとして、現地入りした伊藤裕二社長が胸を張ったのは「F8NFTS（フォーラムエイトNFTサービス）」。クリエイターが作品の真正性を証明する「デジタル作品の真正性証明」。

デジタル作品の真正性証明

「F8NFTS（フォーラムエイトNFTサービス）」は、ブロックチェーン技術を用いてデジタル作品の真正性を証明するものである。デジタル作品はコピー可能でも、NFTに関連付けられていないものは1つであるため、作品の価値を維持できるとされている。

F8NFTSは、NFTと作品を関連付ける「F8NFTS（フォーラムエイトNFTサービス）」は、ブロックチェーン技術を用いてデジタル作品の真正性を証明するものである。デジタル作品はコピー可能でも、NFTに関連付けられていないものは1つであるため、作品の価値を維持できるとされている。

豪州の現地法人が積極活動

今回の展示では、現地法人であるFORUM8 AU PTY LTDが、法人格を得て既に15年近くの実績を積み、シミュレータをオーストラリアの5大貿易港に納品し、コンテナ輸送の安全確保に貢献するなど、地元の経済活動に貢献している。

今回は、展示中に高等教育機関から声が掛かるなど、オーストラリアに根付き、認知されている。伊藤社長は「工学・エンターテインメント分野にも導入されるようにしていきたい」と抱負を語っている。



今回の目玉の1つは、コンテンツのNFT対応を支援する「F8NFTS」だった。デジタルコンテンツにNFTを対応付け作品の一意性を保証することで、価値の維持を支援する

今回の目玉の1つは、コンテンツのNFT対応を支援する「F8NFTS」だった。デジタルコンテンツにNFTを対応付け作品の一意性を保証することで、価値の維持を支援する



360度回転するシートを使ったVR体験は大人気で、行列が途絶えなかった

ユレーションした「ジェスチャーコントロールUAV」で、ここでは、来場者は手を広げて身体を傾け仮想空間内のドローンを操作し、飛行の様子を体感していた。

産業界に加えて、多くの研究機関でも使われているドライブシミュレータ「UC-win/Road」のコーナーでは、VR用HMD（ヘッドマウントディスプレイ）を装着してピッチ方向（左右軸）に座面が傾くシートに座りジェットコースターを体感するシミュレーションを実施していた。また、同じシミュレータも出展された。



オーストラリアの道路状況を再現したドライブシミュレータでは、現地の人々が運転に挑戦していた